

鹿児島県地震等災害被害予測調査検討有識者会議（第 6 回）

防災・減災対策の方向性における方針案

令和8年10月28日

1. 防災・減災対策の方向性においてとりまとめる事項

- 防災・減災対策の方向性は、以下の構成でとりまとめる。

1 計画策定の背景

- 1) 鹿児島県における地震災害及び防災上の課題
- 2) 地震等防災対策の必要性

2 計画の概要

- 1) 基本理念
- 2) 計画期間
- 3) 重点的に取り組む事項

2. 今回の更新で目指す効果

- 前回調査時の項目の更新にとどめず、被害想定から実施・評価までつながる方向性を構築

根拠を統合

新たな被害想定結果
前回以降の県施策・実績
国の計画・近年災害の教訓
人口・高齢化・離島等の変化

方向性を再構成

基本理念・計画期間
重点テーマと施策体系
地域別・時間軸別の考え方
役割分担と実施主体

実効性を担保

定量・定性の減災効果
減災目標とKPI
地域防災計画等への反映
継続的な進捗確認・見直し

3. 防災・減災対策の方向性における検討の全体像

検討の基礎情報

被害想定結果 + 地域の潜在的危険度評価 + 被害シナリオ + 平成26年度以降の県施策・実績

① 課題の抽出

県の防災上の課題と
地域防災計画改定の方性

② 基本設定

計画期間の設定
対象地震の選定

③ 既往対策の整理

事業内容・実績数量
投入予算の整理

④ 施策事業案の作成

継続・拡充・新規の
防災・減災対策を検討

⑤ 被害軽減効果の評価

算定可能な施策は定量評価
困難な施策は定性評価

⑥ 減災目標の設定

各施策の減災効果を総合し
県の減災目標を設定

⑦ 施策事業の体系化

各施策について明確化

現状・目標

実施期間

実施主体

重点対象地区

県担当課

防災・減災対策の方向性のとりまとめ

4. 前回調査以降の変化を踏まえた防災・減災対策の更新方向(案)

- 前回調査時の防災・減災対策の方向性における「命・暮らし・地域」を継承しつつ、直接死対策から災害関連死・継続性まで視野を拡張

見直す項目	前回の考え方・主な取組	今回追加・強化する視点(案)
対象とする被害	建物倒壊や津波による人的被害を中心に対策	災害関連死、長期停電・断水、医療・福祉機能への影響も考慮
対策の基本的な考え方	「命を守る」「暮らしを守る」「地域を守る」の3本柱	3本柱を基本に、避難後の生活環境を確保し、「助かった命をつなぐ」視点を強化
地域・社会の変化	過疎化・高齢化、離島等の地域特性に配慮	人口減少・高齢化の進行、地域防災の担い手不足、要配慮者、観光客・外国人への対応を強化
防災対策の進め方	防災行政無線、備蓄、BCP等の整備を推進	情報伝達の多重化、デジタル技術、官民連携、広域的な支援・受援を活用
減災目標・取組	地震の揺れや津波による死者数の減災目標を設定	死者数の減災目標を基本とし、主な防災・減災対策の取組状況も確認